

第 10 回八戸市中心市街地活性化協議会

議 事 録

1. 開催年月日 平成 22 年 5 月 26 日 (木) 14:30～15:49
2. 開催場所 八戸商工会館 4 階大会議室
3. 出席者数

(1) 委 員	22 名
(2) オブザーバー	4 名 (岩岡幹事含む)
(3) 事務局	7 名 (タウンマネージャー含む)
(4) 青 森 県	1 名
(5) 八 戸 市	4 名

4. 議事の概要

事務局から開会を宣し、橋本会長挨拶の後、事務局から規約第 14 条により委員 37 名の内、22 名が出席したことから定足数を満たし、協議会として成立する旨及び会長が議長となる旨を説明。その後議長は直ちに議事に入った。

第 1 号議案 平成 21 年度事業報告及び収支決算について

事務局から平成 21 年度事業報告及び収支決算について説明の後、石橋弘造会計監事より平成 22 年 5 月 21 日に監査した結果、適正かつ正確に処理されている旨報告された。議長が議決を議事に諮ったところ全員異議なく原案通り可決された。

第 2 号議案 平成 22 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について

事務局から平成 22 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) 説明の後、議長が議場に諮ったところ全員異議なく原案通り可決された。

第 3 号議案 八戸市中心市街地活性化基本計画の事業進捗状況について

八戸市まちづくり文化推進室 村上主査、事務局 吉田副部長より、八戸市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について説明した。

議長は議場に意見を求めたところ、石橋司委員より、中心市街地オフィスビルパートナー制度事業について、地元ビルオーナーへの PR はもちろんのこと、誘致企業への PR もお願いしたい旨意見が出された。

引き続き、八戸市まちづくり文化推進室 安原グループリーダーより、八戸市中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて以下の通り説明があった。

- 基本計画の目標数値の達成状況について、歩行者通行量は計画 45,500 人に対し、最新値は 24,979 人であり、目標達成は困難な見通しである。
- 居住人口は計画 4,800 人に対し、現在 4,465 人であり、まちなか住宅取得支援事業の継続やポレスターマンションへの入居開始、まちづくり八戸で計画している借上市営住宅整備事業も進んでおり、目標達成は可能の見通しである。
- 今後の対策として、中心市街地の空き店舗に出店する事業者へ改装費の一部を支援する事業を追加する予定にしているほか、八戸市中心市街地活性化協議会や民間等、関係者と連携を図って進めていく。

第 4 号議案 その他

八戸市まちづくり文化推進室 村上主査より、中心商店街空き店舗・空き床解消事業補助金について、八戸ポータルミュージアム開設準備室 田中副参事より、八戸ポータルミュージアム「はっち」事業計画についての説明があった。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、15時49分に閉会した。